

結核登録者情報調査月報報告（秋田県）—平成31年（2019年）4月の概況—

■ 4月の概況（概数）

○秋田県の平成31年4月の新登録結核患者数は6人でした。

そのうち、喀痰塗抹陽性肺結核患者数は2人、その他の活動性肺結核患者数は3人、肺外結核患者数は1人でした。

年齢別では、0～59歳が1人、60～69歳が0人、70～79歳が1人、80歳以上が4人でした。

保健所管内別では、秋田市保健所管内で1人、大館保健所管内で1人、能代保健所管内で1人、

大仙保健所管内で1人、横手保健所管内で1人、湯沢保健所管内で1人、でした。

○潜在性結核感染症は3人でした。

■長引く「せき」は赤信号！ 結核に対する一人ひとりの理解が大切です。

○結核の発生状況については、県民の皆さんの注意喚起のために、週報及び月報の情報を提供しています。

○健康に留意し、毎年、定期健康診断を受けましょう。

○2週間以上続く「せき」や「たん」等の症状がありましたら、早めに病院を受診しましょう。

1. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、平成31年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
総合患者 分類別 (図1)	秋田県	4	6	2	6									18
	喀痰塗抹陽性肺結核	3	2	1	2									8
	他の活動性肺結核	1	2	0	3									6
	肺外結核	0	2	1	1									4
	(別掲) 潜在性結核感染症	(0)	(5)	(5)	(3)									(13)
年齢別	秋田県	4	6	2	6									18
	0-59歳	0	0	1	1									2
	60-69歳	1	0	0	0									1
	70-79歳	1	1	0	1									3
	80歳以上	2	5	1	4									12
	(再掲) 70歳以上 %	3 75.0	6 100.0	1 50.0	5 83.3									15 83.3

＊用語の説明

新登録結核患者…………… 新たに結核と診断された患者。

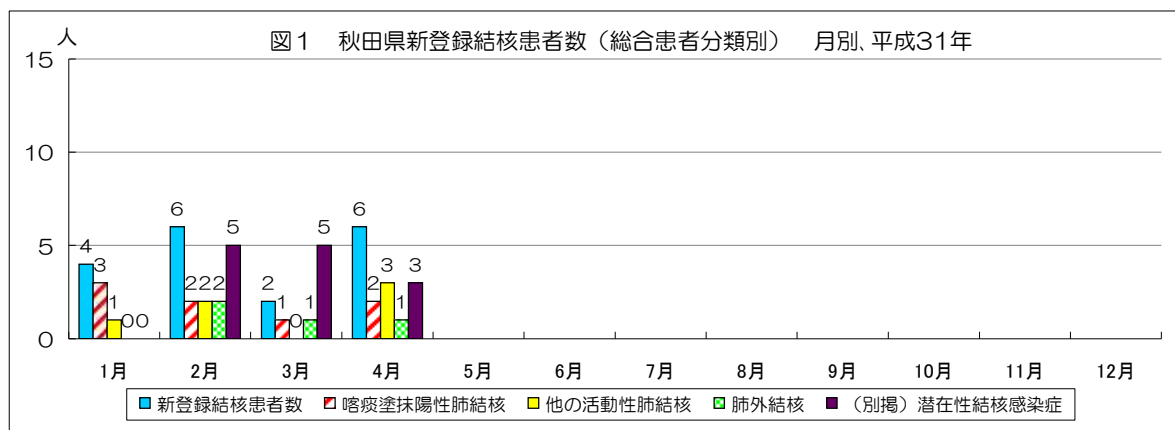
喀痰塗抹陽性肺結核…………… たんの中に結核菌が出るようになり、他者にうつすおそれのある重症化した状態の結核。

活動性結核…………… 結核の治療を要する者。

肺結核…………… 肺又は気管支を主に冒した結核症。

肺外結核…………… 肺及び気管支以外の臓器を主に冒した結核症。例えば胸膜、咽頭、腸、腎臓、骨、皮膚等

潜在性結核感染症…………… 結核菌に感染しているものの、発病しないで一時的に休眠状態にある場合。



2. 秋田県の新登録結核患者数＜概数＞ 月別、保健所別、平成31年

		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	計
保健所別	秋田市	1	1	1	1									4
	大館	0	0	0	1									1
	北秋田	0	0	0	0									0
	能代	2	3	0	1									6
	秋田中央	0	2	0	0									2
	由利本荘	0	0	0	0									0
	大仙	1	0	1	1									3
	横手	0	0	0	1									1
	湯沢	0	0	0	1									1
H31年	秋田県（概数）＊	4	6	2	6									18
H30年	秋田県（概数）＊	4	7	4	4	4	9	9	5	4	7	7	5	69

＊月別の合計値（概数）であるため、年報の確定値とは一致しない場合があります。

- 秋田県及び全国の結核情報については、
秋田県健康環境センター、結核予防会結核研究所等のホームページをご覧ください。